

(2014.10.18)

岩崎博道: 発熱性好中球減少症のマネジメント. 長崎県病院薬剤師会平成 26 年度第 6 回学術講演会 (2014, 10.)

岩崎博道: 福井県内における感染防止対策状況. 医療法人林病院感染防止対策セミナー2 (2014, 10.)

藤田博己: マダニ類と感染症. ペストコントロール(有害生物防除)の基礎的講習会. 四国開催 H26 年度地域交流活性化セミナー. 高松市 (2014.10.02)

重見博子, 池ヶ谷諭史, 田居克規, 岩崎博道, 上田孝典: テトラサイクリン系抗菌薬によるサイトカイン・ケモカイン産生修飾効果. 第 62 回日本化学療法学会西日本支部総会, 第 57 回日本感染症学会中日本地方会学術集会, 第 84 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 (2014, 10.)

田居克規, 岩崎博道, 高井美穂子, 池ヶ谷諭史, 上田孝典: Minocycline および ciprofloxacin 併用におけるサイトカイン/ケモカイン産生修飾効果. 第 62 回日本化学療法学会西日本支部総会, 第 57 回日本感染症学会中日本地方会学術集会, 第 84 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 (2014, 10.)

岩崎博道: エボラ出血熱・デング熱を克服するために. 福井学習会緊急講演会(2014, 10.)

高田伸弘: シンポジウム「これでわかったダニによる疾患」1. 「医ダニ」総論. 第 30 回日本臨床皮膚科医会近畿ブロック総会・学術大会, 神戸市 (2014. 10.)

Ochirkhuu N, Konnai S, Mingala C, Okagawa T, Villanueva M, Pilapil F,

Murata S, Ohahsi K: Molecular epidemiological survey of tick-borne diseases in cattle of Philippine. The 2<sup>nd</sup> Sapporo Summer Seminar for One Health. Sapporo, (2014.9.24)

高野 愛: 野外活動中のマダニ対策について. 第 20 回日本野生動物医学会. 茨城県つくば市 (2014.9.16-18)

高野 愛, Boldbaatar Bazartseren, Erdenechimeg Dashzeveg, Myagmarsukh Yondon, Gabriele Margos: モンゴル国北部にて採取したマダニにおける *B.miyamotoi* の疫学調査研究. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9-12)

Kyunglee Lee, 高野 愛, Kyle Taylor, 佐鹿万里子, 下鶴倫人, 今内 覚, 川端寛樹, 坪田敏男: A RF *Borrelia* sp. found among wild sika deer and *Haemaphysalis* ticks in Hokkaido. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9-12)

松本苑子, 橋野正紀, 鈴木 尋, 高野 愛, 藤田修, 堀田明豊, 森川 茂, 高田伸弘, 渡邊健太, 清水 隆, 度会雅久: ダニにおける *Francisella tularensis* の全国的疫学調査. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9-12)

大場真己, 大松勉, 安藤秀二, 川端寛樹, 高野 愛, 片山幸枝, 古谷哲也, 長井誠, 水谷哲也: コウモリマルヒメダニから分離された新規ブニヤウイルスについて. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9-12)

下田 宙, 米満研三, 早坂大輔, 好井健太朗, 寺田 豊, 野口慧多, 鋏田龍星, 高野 愛, 前田 健: 国内の野生動物およびダニから新規フ

ラビウイルスの検出. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9-12)

浜崎千菜美, 鍛田龍星, 野口慧多, 寺田 豊, 下田 宙, 高野 愛, 鈴木和男, 森川 茂, 前田健: 野生動物における SFTS ウイルス感染の疫学調査. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9-12)

川森文彦, 池ヶ谷朝香, 小柳純子, 佐原啓二, 大橋典男: One-tube nested PCR による *Orientia tsutugamushi* の検出, 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9-12)

Ochirkhuu N, Konnai S, Mingala C, Okagawa T, Murata S, Ohahsi K: Molecular epidemiological survey of tick-borne diseases in cattle of Philippine. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 札幌, (2014.9.9)

川端寛樹: ダニ媒介性細菌感染症の疫学および診断法. 第 157 回日本獣医学会学術集会. 北海道札幌市 (2014.9.9)

Akter A, Ooka T, Yamamoto S, Katsura K, Yoshimura D, Ogura Y, Itoh T, Hayashi T: Fine genomic comparison of *Rickettsia japonica* strains in Japan. 第 67 回日本細菌学会九州支部総会. 鹿児島市 (2014.09.05-06)

Inai K, Noriki S, Iwasaki H: Bone marrow histiocytic hyperplasia with hemophagocytosis: a critical complication of sepsis/ARDS. ICAAC 2014 (2014, 9.)

岩崎博道: 感染予防対策のさらなる向上を目指して. 富山大学病院院内感染対策特別講演会 (2014, 9.)

岩崎博道: 好中球減少患者の感染制御. 血液感染症セミナー in SAITAMA (2014, 9.)

岩崎博道: ダニ関連感染症の病態 - 日本紅斑熱を中心に -. 金沢医科大学大学院医学研究セミナー (2014, 9.)

岩崎博道: 院内感染予防について. 福井県歯科医師会医療安全講習会 (2014, 9.)

大橋典男: 日本国内に潜在する新興感染症「アナプラズマ症」, 平成 26 年度中部地区獣医師大会・獣医学術中部地区学会特別公演. 静岡 (2014.08.31)

岩崎博道: これだけは忘れてはならない院内感染対策の基本. 福井県保険医協会講習会, (2014, 8.)

Uda A, Kawabata H, Fukushi S, Kaku Y, Yoshikawa T, Shimojima M, Niikura A, Ando S, Sawabe K, Maeda K, Fujita H, Saijo M, Morikawa S: Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in ticks in Japan, XVI<sup>th</sup> International Congress of Virology, Montreal, (July 27 – August 1, 2014)

Ando S, Fujita H, Kawabata H, Takano A, Uda A, Morikawa S: Rickettsial and other pathogens in ticks, Japan. XIV International Congress of Acarology, Kyoto (2014.07.18)

Ohashi N, Yoshikawa Y, Gaowa, Wuritu, Wu D, Kawamori F: Tick-associated Anaplasmataceae pathogens in Japan., XIV International Congress of Acarology. 京都 (2014.07.18)

Kitano T.: Characterization of *Orientia tsutsugamushi* Isolated in Ikema island.

The 14th International Congress of Acarology, Kyoto (2014.07.14-18)

安藤秀二: これからのシーズンに気をつけたいダニ媒介性細菌感染症—その診断・治療体制構築と、日頃からできること、第 209 回生命科学フォーラム、東京 (2014.07.29)

藤田博己, 藤田信子: 四国型ツツガムシ病再考、第 22 回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー、太宰府市 (2014.07.04-06)

角坂照貴, 藤田博己, 藤田信子, 高野 愛, 安藤秀二: 写真でマダニの同定は可能か、第 22 回 SADI、太宰府市 (2014.07.04-06)

今内 覚, 伊東拓也, 川端寛樹, 高野 愛, 安藤秀二, 村田史郎, 大橋和彦: シュルツェマダニ (*Ixodes persulcatus*) 由来免疫抑制因子の性状解析、第 22 回 SADI 大宰府大会 2014 (2014, 7.4)

田居克規, 池ヶ谷諭史, 岩崎博道: ニューキノロン系抗菌薬およびチゲサイクリンに関するサイトカイン産生抑制作用の検討、第 22 回 SADI 大宰府大会 2014 (2014, 7.)

高田伸弘, 矢野泰弘, 池ヶ谷諭史, 岩崎博道, 石畝 史: シモコシ型恙虫病は東北から近畿地方まで在るらし? 第 22 回 SADI 大宰府大会、太宰府市 (2014.7.)

宮代守, 梶山桂子, 石橋哲也, 御供田睦代, 藤田博己, 安藤秀二: マダニおよび野ネズミのリケッチア保有状況 (福岡市内における *Rickettsia japonica* 初感染事例を受けて)、第 22 回 SADI 大宰府大会 2014 (2014, 7.)

岩崎博道: ダニ媒介性感染症の現状と対策、中部耐性菌フォーラム学術講演会 (2014, 7.)

川森文彦, 大橋典男: わが国の新興アナプラズマ症、衛生微生物技術協議会第 35 回研究会、東京 (2014.06.26-27)

川端寛樹, 高野 愛, 大西真: 後向きサーベイランスにより明らかとなった新興回帰熱の 2 例、第 88 回日本感染症学会学術講演会、福岡県福岡市 (2014.6.18-20)

白井睦訓, 小川基彦, 花岡希, 大津山賢一郎, 岸本寿男, 安藤秀二: Whole Genome Sequencing of the Spotted Fever Disease Agent *Rickettsia japonica*、第 88 回日本感染症学会学術講演会、福岡県福岡市 (2014.6.18-20)

藤田博己: ダニ媒介性感染症の基礎と疫学、シンポジウム「ダニ媒介性感染症の現状とその対策」、第 88 回日本感染症学会学術講演会・第 62 回日本化学療法学会総会合同学会、福岡市 (2014.06.18-20)

成田 雅, 門馬直太, 関川喜之, 池田 浩, 橋本克彦, 藤田博己: 福島県のつつが虫病 臨床像分類の試み Bloody killer から Easily overlooked まで、第 88 回日本感染症学会学術講演会・第 62 回日本化学療法学会総会合同学会、福岡市 (2014.06.18-20)

岩崎博道: 多様化するつつが虫病の現状と課題、第 88 回日本感染症学会総会学術講演会、第 62 回日本化学療法学会総会シンポジウム (2014, 6.)

岩崎博道: 福井大学病院での感染症および感染制御に関する取り組み紹介、第 2 回昇竜道フォーラム (2014, 6.)

高田伸弘, 矢野泰弘, 池ヶ谷諭史, 岩崎博道:  
西日本域の福井県で確認されたシモコシ型つ  
つが虫病、その後の展開. 第 32 回北陸病害動  
物研究会 (2014, 6.)

藤田博己: マダニの採取・保管維持・同定方法  
について. 近畿地区マダニ類のフィールド調査  
に関する研修会. 大阪府 (2014.05.13)

岩崎博道: 免疫不全患者における感染症の診  
断と治療. 感染症治療フォーラム in Osaka  
(2014, 5.)

岡恵子, 川端寛樹: スウェーデンで *Borrelia* 保  
有のマダニに咬着された2例. 第 30 回臨床皮  
膚科医学会総会. 横浜 (2014.4)

Yoshikawa Y, Sugimoto K, Gaowa, Ohashi  
N: Accommodation responses of  
*Anaplasma phagocytophilum* during the  
multiplication in the host cells, 第 87 回日  
本細菌学会総会. 東京 (2014.03.26-27)

宮井莉奈, 高野愛, 川端寛樹, 大橋典男, 福井  
貴史, 岡本能弘, 増澤俊幸: 極東ロシアとモン  
ゴル由来マダニの回帰熱ボレリアの保有率と遺  
伝系統解析, 第 87 回日本細菌学会総会. 東京  
(2014.03.26-27)

Ando S: Epidemiology and pathogenicity of  
rickettsioses in Japan. The 12<sup>th</sup>  
Japan-Korea International Symposium on  
Microbiology 2014, Tokyo (2014.03.24-25)

藤田博己, 藤田信子, 安藤秀二, 矢野泰弘, 高  
田伸弘: 四国におけるタテツツガムシの生息状  
況調査. 第 66 回日本衛生動物学会大会. 岐阜  
市 (2014.03.23)

及川陽三郎, 藤田博己, 高田伸弘: アルカリ抽

出多糖抗原の試験紙による紅斑熱群リケッチア  
症血清抗体価の測定. 第 66 回日本衛生動物  
学会大会. 岐阜市 (2014.03.23)

藤田博己: 国内のマダニ相とマダニ感染症の現  
状. 第 66 回日本衛生動物学会大会 殺虫剤研  
究班 2014 年集会. 岐阜市 (2014.03.21)

藤田博己: 四国のマダニと SFTS. 第 66 回日本  
衛生動物学会大会 ダニ類研究班集会. 岐阜  
市 (2014.03.21)

高田伸弘, 矢野泰弘, 高橋 守, 山本正悟, 佐  
藤寛子, 岩崎博道. 西日本域の福井県で初確  
認されたシモコシ型恙虫病の感染環調査, 2年  
間の経過. 第 66 回日本衛生動物学会大会. 岐  
阜市 (2014.03.)

矢野泰弘, 高田伸弘, 石田久哉, 石畝 史, 及川  
陽三郎: 昨年マダニ刺症の傾向と北陸地方に  
おけるマダニ媒介性感染症の発症リスク評価. 第  
66 回日本衛生動物学会大会. 岐阜市  
(2014.03.)

夏秋 優, 矢野泰弘, 高田伸弘: タカサゴキラマ  
ダニ唾液腺抽出物によるマウス遅延型アレルギー  
反応. 第 66 回日本衛生動物学会大会. 岐阜市  
(2014.03.)

岩崎博道: 感染と敗血症の治療ガイドラインに  
ついて. 福井トロンボモジュール講演会 (2014,  
3.)

岩崎博道: 院内感染を防ぐための身近な感染  
対策. 鯖江市医師会 3 月十日会 (2014, 3.)

藤田博己: 国内におけるダニ媒介性感染所の  
現況. 平成 25 年度 日本獣医師会獣医学術学  
会年次大会. 千葉市 (2014.02.22)

大橋典男: 日本国内の「アナプラズマ症」と血清

診断について, 厚生労働省健康局・結核感染症課/国立感染症研究所主催 希少感染症診断技術研修会. 東京 (2014.02.20)

田居克規, 岩崎博道, 池ヶ谷諭史. 日本紅斑熱とつが虫病の急性期血清サイトカイン濃度の比較. 第6回日本リケッチア症臨床研究会・第20回リケッチア研究会合同研究発表会 (2014, 1.)

高田伸弘, 岩崎博道, 福井県のシモコシ型つが虫病の発生スポットでの1年後の感染症調

査. 第6回日本リケッチア症臨床研究会・第20回リケッチア研究会合同研究発表会 (2014, 1.)

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

## Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
安藤秀二	リケッチア	平松啓一 監修, 中込 治, 神谷茂 編集	標準微生物学, 第11版	医学書院	東京	2012	317-325
岩崎博道, 高田伸弘	リケッチア症を診断する	前崎繁文, 大曲貴夫ら 編集	臨床感染症ブックレット	文光堂	東京	2012	73-76
岩崎博道, 馬原文彦	リケッチア症を疑った場 合の抗菌薬の選択は?	前崎繁文, 大曲貴夫ら 編集	臨床感染症ブックレット	文光堂	東京	2012	132-133
小椋義俊, 林哲也	第4章新規ゲノム配列決 定編 細菌ゲノム	監修 菅野 純夫/鈴木 稔	細胞工学別冊 次世代 シーケンサー 目的別 アドバンスメソッド	秀潤社	東京	2012	120-129
岩崎博 道, 池ヶ 谷諭史, 安藤秀二	発疹チフス群感染症: 発疹チフス・発疹熱	館田一博	別冊日本臨床 感染症症 候群 病原体別感染症編 第2版, 新領域別症候群 シリーズ, No.24	日本臨床社	東京	2013	288-291
安藤秀二	発疹熱・発疹チフス・日 本紅斑熱	永井良三, 大田健	今日の治療と看護 改定第3版	南江堂	東京	2013	935-937
安藤秀二	リケッチア, クラミジア, バルトネラ	矢崎義雄	内科学 第10版	朝倉書店	東京	2013	
岸本寿男	グラム陰性細菌 リケッチア目	荒川宜親 ほか編集	クラミジア目 病原微生物 学 基礎と臨床	東京科学同 人	東京	2014	105-107
岸本寿男	小児の治療指針3. 感染症リケッチア感染症 (つつが虫病、日本紅斑 熱)		小児科診療Vol.77 2014年増刊号 小児の治療指針	診断と治療社	東京	2014	153-154
安藤秀二	リケッチア	平松啓一 監修, 中込 治, 神谷茂 編集	標準微生物学, 第12版	医学書院	東京	2015	307-315
安藤秀二	発疹チフス・発疹熱	岡部信彦	感染症予防必携第3版	日本公衆衛 生協会	東京		in press

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
Fujisawa T, Kadosaka T, Fujita H, <u>Ando S</u> , Takano A, Ogasawara Y, <u>Kawabata H</u> , Seishima M	Rickettsia africae Infection in a Japanese Traveler with many tick bites	Acta Dermato-Venereologica	92	443-444	2012
Gaowa, Wuritu, WuDX, Yoshikawa Y, <u>Ohashi N</u> , Kawamori F, Sugiyama K, Ohtake M, Ohashi M, Yamamoto S, Kitano T, <u>Takada N</u> , and <u>Kawabata H</u>	Detection and characterization of p44/msp2 transcript variants of Anaplasma phagocytophilum from naturally infected ticks and wild deer in Japan	Jpn J Infect Dis	65	79-83	2012
Hiroi M, Takahashi N, Harada T, Kawamori F, Iida N, Kanda T, Sugiyama K, <u>Ohashi N</u> , Hara-Kudo Y, and Masuda T	Serotype, Shiga toxin (Stx) type, and antimicrobial resistance of Stx-producing Escherichia coli isolated from humans in Shizuoka Prefecture, Japan (2003-2007)	Jpn J Infect Dis	65	198-202	2012
Hiroi M, Yamazaki F, Harada T, Takahashi N, Iida N, Noda Y, Yagi M, Nishio T, Kanda T, Kawamori F, Sugiyama K, Masuda T, Hara-Kudo Y, and <u>Ohashi N</u>	Prevalence of extended-spectrum $\beta$ -lactamase-producing Escherichia coli and Klebsiella pneumoniae in food-producing animals	J Vet Med Sci	74	189-195	2012
Hiroi M., Matsui S., Kubo R., Iida N., Noda Y., Kanda T., Sugiyama K., Hara-Kudo Y., and <u>Ohashi N</u>	Factors for occurrence of extended-spectrum $\beta$ -lactamase-producing Escherichia coli in broiler	J Vet Med Sci	74	1635-1637	2012
<u>Konnai S</u> , Yamada S, Imamura S, Nishikado H, Githaka WN, Ito T, Takano A, <u>Kawabata H</u> , Murata S, Ohashi K	Identification of TROSPA homologue in Ixodes persulcatus, Schulze, the specific vector for human Lyme borreliosis in Japan	Ticks Tick Borne Dis	3	75-77	2012



Imamura S, <u>Konnai S</u> , Yamada S, Parizi LF, Githaka N, Vaz, I da S Jr, Murata S, Ohashi K	Identification and partial characterization of a gut Rhipicephalus appendiculatuscystatin	Ticks Tick Borne Dis	4	138-144	2012
Parizi LF, Githaka NW, Logullo C, <u>Konnai S</u> , Masuda A, Ohashi K, da Silva Vaz Jr I	The quest for a universal vaccine against ticks: Cross-immunity insights	Vet J	194	158-165	2012
Ikegaya S, Tai K, Shigemi H, <u>Iwasaki H</u> , Okada T, Ueda T	Fulminant candidemia diagnosis by prompt detection of pseudohyphae in a peripheral blood smear	Am J Med Sci	343	419-420	2012
Hida Y, Hisada K, Shimada A, Yamashita M, Kimura H, Yoshida H, <u>Iwasaki H</u> , Iwano M	Rapid detection of the Mycobacterium tuberculosis complex by use of quenching probe PCR (geneCube)	J Clin Microbiol	50	3604-3608	2012
Yamauchi T, Matsuda Y, Takai M, Tasaki T, Tai K, Hosono N, Negoro E, Ikegaya S, Takagi K, Kishi S, Yoshida A, Urasaki Y, <u>Iwasaki H</u> , Ueda T	Early relapse is associated with high serum soluble interleukin-2 receptor after the sixth cycle of R-CHOP chemotherapy in patients with advanced diffuse large B-cell lymphoma	Anticancer Res	32	5051-5058	2012
Yamauchi T, Sato M, Ito T, <u>Fujita H</u> , <u>Takada N</u> , <u>Kawabata H</u> , <u>Ando S</u> , Sakata A and Takano A	Survey of tick fauna and tick-borne pathogenic bacteria on Rishiri Island, off north Hokkaido, Japan	Int. J. Acarol		DOI: 10.1080/01647954.2012.738708	2012
Negoro E, <u>Iwasaki H</u> , Tai K, Ikegaya S, Takagi K, Kishi S, Yamauchi T, Yoshida A, Urasaki Y, Shimadzu M, Ueda T	Utility of PCR amplification and DNA microarray hybridization of 16S rDNA for rapid diagnosis of bacteremia associated with hematological diseases	Int J Infect Dis, [Epub ahead of print]			2012
Sakamoto N, Nakamura-Uchiyama F, Kobayashi K, Takasaki T, <u>Ando S</u> , Iwabuchi S, Ohnishi K	Murine Typhus with Shock and Acute Respiratory Failure in a Japanese Traveler after Returning From Thailand	J Travel Med	20	50-53	2013
<u>Ohashi N</u> , Gaowa, Wuritu, Kawamori F, Wu DX, Yoshikawa Y, Chiya S, Fukunaga K, Funato T, Shiojiri M, Nakajima H, Hamauzu Y, Takano A, <u>Kawabata H</u> , <u>Ando S</u> and <u>Kishimoto T</u>	Human granulocytic anaplasmosis, Japan	Emerg Infect Dis	19	289-292	2013

Gaowa, <u>Ohashi N</u> , Aochi M, Wurutu, Wu DX, Yoshikawa Y, Kawamori F, Honda T, <u>Fujita H</u> , <u>Takada N</u> , Oikawa Y, <u>Kawabata H</u> , <u>Ando S</u> and <u>Kishimoto T</u>	Rickettsiae in ticks, Japan, 2007- 2011	Emerg Infect Dis	19	338-340	2013
Shinohara M, Uchida K, Shimada S, Tomioka K, Suzuki N, Minegishi T, Kawahashi S, Yoshikawa Y, and <u>Ohashi, N</u>	Application of a simple method using minute particles of amorphous calcium phosphate for recovery of norovirus from cabbage, lettuce, and ham	J Virol Methods	187	153-158	2013
Taylor KR, Takano A, Shimotsuru, <u>Konnai S</u> , <u>Kawabata H</u> , Tsubota T	Borrelia miyamotoi infections among wild rodents show age and month Independence and correlation with Ixodes persulcatus larval attachment in Hokkaido, Japan	Vector Borne Zoonotic Dis	13	92-97	2013
Tai K, <u>Iwasaki H</u> , Ikegaya S, Ueda T	Minocycline modulates cytokine and chemokine production in lipopoly- saccharide-stimulated THP-1 monocytic cells by inhibiting I $\kappa$ B kinase $\alpha/\beta$ phosphorylation	Translational Res	161	99-109	2013
安藤秀二	ペストコントロール技術セミナー 「怖いダニ類媒介性感染症～地域毎の 情報を発信することが大事」	ペストコントロール	160	27-31	2012
島崎綾子, 濱口陽, 原口 康平, 里龍晴, 白川俊 彦, 中富明子, 中嶋有美 子, 森内浩幸, 安藤秀 二, 安藤匡子	新生児の日本紅斑熱症の一例 ～長崎県～	病原微生物検出情報	33	20-21	2012
田原研司, 川端寛樹, 安 藤秀二, 新井智, 板垣朝 夫, 渡邊治雄	島根県におけるつつが虫病の 疫学的検討	日本獣医師会獣医学 術学会誌	65	535-541	2012
高田伸弘	ダニ関連感染症—最近の知見	小児内科	44	1016-1020	2012
岩崎博道	発熱性好中球減少症の治療戦略 —細菌感染症から真菌感染症まで	血液腫瘍シンポジウム 2012		3-5	2012
池ヶ谷諭史, 岩崎博道, 李心, 高井美穂子, 細野 菜穂子, 岸慎治, 山内高 弘, 吉田明, 浦崎芳正, 上田孝典	血液疾患に合併した発熱性好中球減 少症に対するmeropenem 1g 1日3回 投与の臨床的有用性	日本化学療法学会 雑誌	60	549-552	2012

成田雅, 鶴沼菜穂子, 伊藤文人, 佐藤憲行, 星野智祥, 井上実, 山本正悟, 安藤秀二, 藤田博己	11月熱 福島県中南部におけるタテツツガムシ媒介性つつが虫病	日本内科学会雑誌	101	164-167	2012
竹之下秀雄, 藤田博己	症例解説. フトゲツツガムシに刺されて発症したツツガムシ病の1例	皮膚臨床	54	311-312	2012
竹之下秀雄, 中村聡一, 清水孝郎, 山内隆治, 二木照美, 高野寿史, 折笠久美, 藤田博己	妊娠後期の妊婦に発症したツツガムシ病の1例妊	皮膚臨床	54	345-349	2012
竹之下秀雄, 藤田博己	2009年に当科で経験したツツガムシ病30例	皮膚臨床	54	355-358	2012
大原善裕, 根本健二, 八木正樹, 青柳良倫, 村井弘通, 竹之下秀雄, 藤田博己, 細矢光亮	血清診断と遺伝子診断でツツガムシ病リケッチアKawasaki型によるツツガムシ病と診断した3歳男児例	小児科臨床	5	449-453	2012
島津幸枝, 谷澤由枝, 高尾信一, 松尾健	広島県におけるリケッチア症(日本紅斑熱及びつつが虫病)の発生状況(2007年~2011年)	広島県立総合技術研究所保健環境センター研究報告	20	11-16	2012
高田伸弘	沖縄県で発生したツツガムシ病	検査と技術	41	76-79	2013
門馬直太	つつが虫病リケッチアの型別と媒介種との関係	日本衛生動物学会誌	64	3-4	2013
Murase Y, Konnai S, Githaka N, Hideno A, Taylor KR, Ito T, Takano A, Ando S, Kawabata H, Tsubota T, Murata S, Ohashi K	Prevalence of Lyme borrelia in <i>Ixodes persulcatus</i> ticks from an area with a confirmed case of Lyme disease	J Vet Med Sci	75	215-218	2013
Motoi Y, Asano M, Inokuma H, Ando S, Kawabata H, Takano A, Suzuki M	Detection of <i>Rickettsia tamurae</i> DNA in ticks and wild boar ( <i>Sus scrofa leucomystax</i> ) skins in Shimane Prefecture, Japan	J Vet Med Sci	75	263-267	2013
Kutsuna S, Kawabata H, Takano A, Kasahara K	Imported relapsing fever, Japan	Am J Trop Med Hyg	89	460-461	2013
Yamauchi T, Satô M, Ito T, Fujita H, Takada N, Kawabata H, Ando S, Sakata A, Takano A	Survey of tick fauna and tick-borne pathogenic bacteria in Rishiri Island, off north Hokkaido, Japan	Int J Acarol	39	3-6	2013

<u>Ohashi N</u>	Potential emerging “Anaplasmosis” and “Ehrlichiosis” infectious diseases and their arthropod vectors in Japan	Med Entomol Zool	64	9-10	2013
Takahashi M, Kadosaka T, Takahashi Y, Misumi H, Sato H, Shibata C, Saito S, <u>Fujita H</u> , <u>Takada N</u> , Matsumoto N	Human dermatitis caused by the natural infestation of larval trombiculid mites <i>Leptotrombidium akamushi</i> (Brumpt, 1910) (Acari: Trombiculidae) at the hot spot of tsutsugamushi disease in Akita Prefecture, Japan	Med Entomol Zool	64	27-32	2013
Ybañez AP, Sato F, Nambo Y, Fukui T, Masuzawa T, <u>Ohashi N</u> , Matsumoto K, <u>Kishimoto T</u> , Inokuma H	Survey on Tick-Borne Pathogens in Thoroughbred Horses in the Hidaka District, Hokkaido, Japan	J Vet Med Sci	75	11-15	2013
Sashida H, Sasaoka F, Suzuki J, Fujihara M, Nagai K, <u>Fujita H</u> , Kadosaka T, <u>Ando S</u> , Harasawa R	Two Clusters among <i>Mycoplasma haemomuris</i> Strains, Defined by the 16S-23S rRNA Intergenic Transcribed Spacer Sequences	J Vet Med Sci	75	643-648	2013
Taylor K, <u>Takano A</u> , <u>Konnai S</u> , Shimozuru M, <u>Kawabata H</u> , Tsubota T	Differential tick burdens may explain differential <i>Borrelia afzelii</i> and <i>Borrelia garinii</i> infection rates among four, wild, rodent species in Hokkaido, Japan	J Vet Med Sci	75	785-790	2013
Inokuma S, Maetani S, Fujitsuka J, <u>Takano A</u> , Sato K, Fukui T, Masuzawa T, <u>Kawabata H</u>	Astasia and Pyrexia Related to <i>Borrelia garinii</i> Infection in Two Dogs in Hokkaido, Japan	J Vet Med Sci	75	975-978	2013
Andoh M, Andoh R, Teramoto K, Komiya T, Kaneshima T, Takano A, Hayashidani H, <u>Ando S</u>	Survey of <i>Coxiella burnetii</i> in ticks collected from dogs in Japan	J Vet Med Sci	75	1115-1117	2013
<u>Kawabata H</u> , <u>Takano A</u> , Kadosaka T, <u>Fujita H</u> , Nitta Y, Gokuden M, Honda T, Tomida J, Kawamura Y, Masuzawa T, Ishiguro F, <u>Takada N</u> , Yano Y, Andoh M, <u>Ando S</u> , Sato K, Takahashi H, Ohnishi M	Multilocus sequence typing and DNA similarity analysis implicate <i>Borrelia valaisiana</i> -related isolated in Japan is distinguishable from European <i>B. valaisiana</i>	J Vet Med Sci	75	1201-1207	2013

Yamauchi T, Negoro E, Lee S, Takai M, Matsuda Y, Takagi K, Kishi S, Tai K, Hosono N, Tasaki T, Ikegaya S, Inai K, Yoshida A, Urasaki Y, <u>Iwasaki H</u> , Ueda T	A high serum uric acid level is associated with poor prognosis in patients with acute myeloid leukemia	Anticancer Res	33	3947-3952	2013
Yamauchi T, Negoro E, Lee S, Takai M, Matsuda Y, Takagi K, Kishi S, Tai K, Hosono N, Tasaki T, Ikegaya S, Yoshida A, Urasaki Y, <u>Iwasaki H</u> , Ueda T	Detectable Wilms' tumor-1 transcription at treatment completion is associated with poor prognosis of acute myeloid leukemia: a single institution's experience	Anticancer Res	33	3335-3340	2013
Negoro E, <u>Iwasaki H</u> , Tai K, Ikegaya S, Takagi K, Kishi S, Yamauchi T, Yoshida A, Urasaki Y, Shimadzu M, Ueda T	Utility of PCR amplification and DNA microarray hybridization of 16S rDNA for rapid diagnosis of bacteremia associated with hematological diseases	Int J Infect Dis	17	e271-e276	2013
Ikegaya S, <u>Iwasaki H</u> , <u>Takada N</u> , Yamamoto S, Ueda T	Tsutsugamushi disease caused by Shimokoshi-type <i>Orientia tsutsugamushi</i> : the first report in Western Japan	Am J Trop Med Hyg	88	1217-1219	2013
<u>Ohashi N</u>	UFRJ/Macaé participa de pós-doutorado no Japão. Jorge Moraes viajou para o país em agosto de 2012 por meio do Programa Ciência sem Fronteiras e a previsão de retorno é para agosto deste ano	O DEBATE DIARIO DE MACAE (ブラジル国内紙新聞掲載: 2013年6月3日掲載)		<a href="http://www.odebateon.com.br/site/noticia/detalhe/28417/professor-da-ufrj-macaeparticipa-de-pos-doutorado-no-japao">http://www.odebateon.com.br/site/noticia/detalhe/28417/professor-da-ufrj-macaeparticipa-de-pos-doutorado-no-japao</a>	2013
Imamura S, <u>Konnai S</u> , Yamada S, Parizi LF, Githaka N, da Silva Vaz I Jr, Murata S, Ohashi K	Identification and partial characterization of a gut <i>Rhipicephalus appendiculatus</i> cystatin	Ticks Tick Borne Dis	4	138-144	2013
Parizi L, Githaka N, Acevedo C, Benavides U, Seixas A, Logullo C, <u>Konnai S</u> , Ohashi K, Masuda A, Itabajara da S. Vaz Jr	Sequence characterization and immunogenicity of cystatins from the cattle tick <i>Rhipicephalus (Boophilus) microplus</i>	Ticks Tick Borne Dis	4	492-499	2013

de Abreu LA, Calixto C, Waltero CF, Pita B, Githaka NW, Seixas A, Parizi LF, <u>Konnai S</u> , da Silva Vaz I Jr, Ohashi K, Logullo C	The conserved role of the AKT/GSK3 axis in cell survival and glycogen metabolism in <i>Rhipicephalus (Boophilus) microplus</i> embryo tick cell line BME26	Biochim Biophys Acta	1830	2574-2582	2013
Githaka N, <u>Konnai S</u> , Skilton R, Kariuki E, Kanduma E, Murata S, Ohashi K	Genotypic variations in field isolates of Theileria species infecting giraffes ( <i>Giraffa camelopardalis tippelskirchi</i> and <i>G. c. reticulata</i> ) in Kenya	Parasitol Int	62	448-453	2013
Hamaguchi Y, Shirakawa T, Kuwatsuka Y, <u>Ando S</u>	A Neonatal Case of Japanese Spotted Fever	Pediatr Infect Dis J	32	1286-1287	2013
Matsutani M, Ogawa M, Takaoka N, Hanaoka N, Toh H, Yamashita A, Oshima K, Hirakawa H, Kuhara S, Suzuki H, Hattori M, <u>Kishimoto T</u> , <u>Ando S</u> , Azuma Y, Shirai M	Complete genome DNA sequence of the East Asian spotted fever disease agent, <i>Rickettsia japonica</i>	PLoS One	8	e71861	2013
Gomes H, Romeiro NC, Braz GRC, Gamosa de Oliveira EA, Rodrigues C, Nunes da Fonseca R, Githaka N, Isezaki M, <u>Konnai S</u> , Ohashi K, Itabajara da Silva Vaz Jr, Logullo C, Moraes J	Identification and structural-functional analysis of cyclin-dependent kinases of the cattle tick <i>Rhipicephalus (Boophilus) microplus</i>	PLoS One	8	e76128	2013
<u>安藤秀二</u> , <u>藤田博己</u>	国内における紅斑熱群リケッチア症を媒介するダニ類と病原体との多様な関係	日本衛生動物学会誌	64	5-7	2013
<u>高田伸弘</u>	国内外のダニ媒介感染症における地理病理学の意義	日本衛生動物学会誌	64	1-2	2013
夏秋 優, <u>高田伸弘</u>	タテツツガムシ幼虫の実験的刺症における臨床像および病理組織像の検討	日本衛生動物学会誌	64	17-19	2013
佐藤寛子, 柴田ちひろ, 齋藤博之, 佐藤了悦, 安部真理子, 齊藤志保子, 高橋 守, <u>藤田博己</u> , 角坂照貴, <u>高田伸弘</u> , <u>川端寛樹</u> , <u>高野 愛</u> , 須藤恒久	アカツツガムシ親和性Kato型つつが虫病患者の確認を受けての秋田県雄物川流域における調査成績(2009)	日本衛生動物学会誌	64	21-25	2013

及川陽三郎, 藤田博己, 矢野泰弘, 高田伸弘	紅斑熱群リケッチア症の簡易診断法 としてのアルカリ多糖体抗原を用いた ELISA法の検討	日本衛生動物学会誌	64	33-35	2013
藤田博己, 矢野泰弘, 高 田伸弘, 安藤秀二, 川端 寛樹, 藤田信子	2012年までに確認できた福島県の マダニ類とマダニ媒介リケッチア	日本衛生動物学会誌	64	37-41	2013
夏秋優, 高田伸弘, 川端 寛樹, 佐藤梢, 高野愛	タカサゴキラマダニ刺症に伴う遊走性 紅斑: Tick-associated rash illness	日本衛生動物学会誌	64	47-49	2013
夏秋 優, 高田伸弘, 高 嶋 渉, 熊切正信, 川端 寛樹, 佐藤梢, 高野愛	シュルツェマダニ刺症で環状紅斑を呈 したがライム病ボレリア感染は確認でき ない症例について新たな見解	日本衛生動物学会誌	64	51-54	2013
高田伸弘	ツツガムシ病, 予防そして小児対応へ	小児科臨床	66	1513-1519	2013
佐藤寛子, 藤田博己, 柴 田ちひろ, 斎藤博之, 須 藤恒久	秋田県で確認されたShimokoshi型つ つが虫病15症例における臨床, 疫学及び 診断法の検討	秋田県健康環境セン ター年報	8	44-50	2013
竹之下秀雄, 草野良郎, 千葉万智子, 門馬直太, 藤田博己	Shimokoshi型Orientia tsutsugamushi 感染によるツツガムシ病の1例	皮膚科の臨床	55	1181-1185	2013
安藤秀二	つつが虫病と日本紅斑熱	化学療法の領域	29	1571-1580	2013
岩崎博道	つつが虫病との出会い, そしてダニの世界へ	化学療法の領域	29	136-137	2013
岩崎博道, 池ヶ谷論史	血液疾患患者におけるFNの リスクと管理	感染症内科	1	423-428	2013
森川茂, 宇田晶彦, 加来 義浩, 木村昌伸, 今岡浩 一, 福士秀悦, 吉川智 城, 谷英樹, 下島昌幸, 安藤秀二, 西條政幸, 澤 辺京子, 川端寛樹, 新倉 綾, 前田健, 高野愛, 柳 井徳磨, 藤田博己, 高田 伸弘	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイ ルスの国内分布調査結果(第一報)	病原微生物検出情報	34	303-304	2013
野村哲彦, 倉田啓史, 池 田宜央, 藤田博己	日本紅斑熱を疑われ血清診断にて 発疹熱と診断した1例	病原微生物検出情報	34	313-315	2013
安藤匡子, 安藤秀二	Q熱	臨床と微生物	41	39-44	2014
安藤秀二	極東地域におけるつつが虫病の現状と 将来的課題	化学療法の領域	30	313-321	2014
Ogawa M, Fukasawa M, Satoh M, Hanada K, Saijo M, Uchiyama T, Ando S	The intracellular pathogen Orientia tsutsugamushi responsible for scrub typhus induces lipid droplet formation in mouse fibroblasts	Microbes and Infection	16	962-966	2014

<u>Takano A</u> , Toyomane K, <u>Konnai S</u> , Ohashi K, Nakao M, Ito T, Andoh M, Maeda K, Watarai M, Sato K, <u>Kawabata H</u>	Tick surveillance for relapsing fever spirochete <i>Borrelia miyamotoi</i> in Hokkaido, Japan.	PLoS One	9	e104532	2014
Lee K, <u>Takano A</u> , Taylor K, Sasika M, Shimozuru M, <u>Konnai S</u> , <u>Kawabata H</u> , Tsubota T	A Relapsing fever group <i>Borrelia</i> sp. similar to <i>Borrelia lonestari</i> found among wild sika deer ( <i>Cervus nippon yesoensis</i> ) and <i>Haemaphysalis</i> spp. ticks in Hokkaido, Japan	Ticks and Tick-borne Diseases	5	841-847	2014
Andoh M, Ogasawara Y, Sakata A, Ito T, <u>Fujita H</u> , <u>Kawabata H</u> , <u>Ando S</u>	Isolation of spotted fever group Rickettsia, <i>R. tamurae</i> and <i>Candidatus R. kotlanii</i> , from <i>Haemaphysalis megasinosae</i> in Japan.	Vector-Borne and Zoonotic Diseases	14	681-684	2014
Natsuaki M, <u>Takada N</u> , <u>Kawabata H</u> , <u>Ando S</u> , Yamanishi K	A case of tick-associated rash illness caused by <i>Amblyomma testudinarium</i>	Journal of Dermatology	41	834-836	2014
Hidano A, <u>Konnai S</u> , Yamada S, Githaka N, Isezaki M, Higuchi H, Nagahata H, Ito T, <u>Takano A</u> , <u>Ando S</u> , <u>Kawabata H</u> , Murata S, Ohahsi K	Suppressive effects of nutrophil by Salp16 Iper, a salivary gland protein, from <i>Ixodes persulcatus</i> Schulze tick	Insect Molecular Biology	23	466-474	2014
Githaka N, <u>Konnai S</u> , Bishop R, Odongo D, Lekolool I, Kariuki E, Gakuya F, Kamau L, Isezaki M, Murata S, Ohashi K	Identification and sequence characterization of novel <i>Theileria</i> genotypes from the waterbuck ( <i>Kobus defassa</i> ) in a <i>Theileria parva</i> -endemic area in Kenya	Veterinary Parasitology	202	180-193	2014
<u>Takano A</u> , <u>Fujita H</u> , Kadosaka T, Takahashi T, Yamauchi T, Ishiguro F, <u>Takada N</u> , Yano Y, Oikawa Y, Honda T, Gokuden M, Tsunoda T, Turumi M, <u>Ando S</u> , Andoh M, Sato K, <u>Kawabata H</u>	Construction of a DNA database for ticks collected in Japan: application of molecular identification based on the mitochondrial 16S rDNA gene	Medical Entomology and Zoology	65	13-21	2014
Ali A, Tirloni L, Isezaki M, Seixas A, <u>Konnai S</u> , Ohashi K, da Silva Vaz Junior I, Termignoni C	Reprolysin metalloproteases from <i>Ixodes persulcatus</i> , <i>Rhipicephalus sanguineus</i> and <i>Rhipicephalus microplus</i> ticks	Experimental and Applied Acarology	63	559-578	2014



Gaowa, Yoshikawa Y, <u>Ohashi N</u> , Wu D, Kawamori F, Ikegaya A, Watanabe T, Saitoh K, Takechi D, Murakami Y, Shichi D, Aso K, <u>Ando S</u>	<i>Anaplasma phagocytophilum</i> antibodies in humans, Japan, 2010-2011	Emerging Infectious Diseases	20	508-509	2014
Sato K, <u>Takano A</u> , <u>Konnai S</u> , Nakao M, Ito T, Kaneko M, Koyama K, Ohnishi M, <u>Kawabata H</u>	Human <i>Borrelia miyamotoi</i> infection in Japan	Emerging Infectious Diseases	20	1391-1393	2014
Tai K, <u>Iwasaki H</u> , <u>Ikegaya S</u> , <u>Takada N</u> , Tamaki Y, Tabara K, Ueda T	Significantly higher cytokine and chemokine levels in patients with Japanese spotted fever than in those with tsutsugamushi disease	J. Clin. Microbiol	52	1938-1946	2014
Takahashi M, Misumi H, Gokuden M, Kadosaka T, Sato H, <u>Fujita H</u> , Yamamoto S, <u>Takada N</u>	Absorption of host hemolytic fluid by trombiculid mites (Acari:Trombiculidae)	Ann. Rep. Ohara Gen. Hosp	53	21-32	2014
Inai K, Noriki S, <u>Iwasaki H</u>	Risk factor analysis for bone marrow histiocytic hyperplasia with hemophagocytosis:an autopsy study	Virchows Arch	465	109-118	2014
Takai M, Yamauchi T, Fujita K, Lee S, Ookura M, Kishi S, Urasaki Y, Yoshida A, <u>Iwasaki H</u> , Ueda T	Controlling serum uric acid using febuxostat in cancer patients at risk of tumor lysis syndrome	Oncol Let	8	1523-1527	2014
Tsukamoto H, Higashi T, Nakamura T, Tano R, Hida Y, Muroi Y, Ikegaya S, <u>Iwasaki H</u> , Masada M	Clinical impact of a multidisciplinary team approach to the initial treatment of patients with hospital-acquired bloodstream infections at a Japanese university hospital	Am J Infect Control	42	970-975	2014
Tasaki T, Yamauchi T, Matsuda Y, Takai M, Ookura M, Lee S, Tai K, Ikegaya S, Kishi S, Yoshida A, Urasaki Y, <u>Iwasaki H</u> , Ueda T	The response to induction therapy is crucial for the treatment outcome of elderly patients with acute myeloid leukemia	single-institution experience. Anticancer Res	34	5631-5636	2014
Inai K, Noriki S, <u>Iwasaki H</u>	Should prophylactic thrombolysis be routine in clinical practice? Evidence from an autopsy case of septicemia	BMC Clin Pathol	14,6	doi: 10.1186/1472-6890-14-6	2014

Yamauchi T, Tasaki T, Tai K, Ikegaya S, Takagi K, Negoro E, Kishi S, Yoshida A, <u>Iwasaki H</u> , Ueda T	Prognostic effect of peripheral blood cell counts in advanced diffuse large B-cell lymphoma treated with R-CHOP-like chemotherapy: A single institution analysis	Oncol Let		in press	2014
Harasawa R, <u>Fujita H</u> , Kadosaka T, <u>Ando S</u> , Rikihisa Y	Proposal for 'Candidatus <i>Mycoplasma haemomuris</i> subsp. <i>musculi</i> ' in mice, and 'Candidatus <i>Mycoplasma haemomuris</i> subsp. <i>ratti</i> ' in rats	International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology		in press	2014
Oda S, Kabeya H, Sato S, Shimonagane A, Inoue K, Hayashidani H, <u>Takada N</u> , <u>Fujita H</u> , <u>Kawabata H</u> , Maruyama S	Isolation of pathogenic <i>Yersinia enterocolitica</i> 1B/O:8 in from <i>Apodemus</i> mice in Japan	Journal of Wildlife Diseases	51	260-264	2015
da Silva RM, Della Noce B, Waltero CF, Costa EP, de Abreu LA, Githaka NW, Moraes J, Gomes HF, <u>Konnai S</u> , da Silva Vaz I, Ohashi K, Logullo C	Non-Classical Gluconeogenesis-Dependent Glucose Metabolism in <i>Rhipicephalus microplus</i> Embryonic Cell Line BME26	International Journal of Molecular Sciences and Hygiene	16	1821-1839	2015
Parizi L, Sabadin G, Alzugaray M, Seixas A, Logullo C, <u>Konnai S</u> , Ohashi K, Masuda A, Itabajara da S. Vaz Jr.	<i>Rhipicephalus microplus</i> and <i>Ixodes ovatus</i> cystatins in tick blood digestion and evasion of host immune response	Parasite and Vectors		in press	
Wu D, Wuritu, Yoshikawa Y, Gaowa, Kawamori F, Ikegaya A, Ohtake M, Ohashi M, Shimada M, Takada A, Iwai K, <u>Ohashi N</u>	Molecular and serological survey of <i>Rickettsiales</i> bacteria in wild sika deer ( <i>Cervus nippon nippon</i> ) in Shizuoka prefecture, Japan: High prevalence of Anaplasma species	Jpn J Infect Dis		in press	
Hamaguchi S, Cuong NC, Tra DT, Yen DH, Shimizu K, Tuan NQ, Yoshida L, Quynh LM, Anh DD, <u>Ando S</u> , Arikawa J, Parry CM, Ariyoshi K, Thuy PT	Clinical and Epidemiological Characteristics of Scrub Typhus and Murine Typhus among Hospitalized Patients with Acute Undifferentiated Fever in Northern Vietnam	Amer J Trop Med Hyg		in press	

Murase Y, <u>Konnai S</u> , Yamada S, Githaka N, Isezaki M, Ito T, <u>Takano A</u> , <u>Ando S</u> , <u>Kawabata H</u> , Murata S, Ohashi K	An investigation of binding ability of <i>Ixodes persulcatus</i> Schulze Salp15 with Lyme disease spirochetes	Insect Biochemistry and Molecular Biology		in press	
Kutsuna S, <u>Kawabata H</u> , Ohmagari N	Imported Lyme disease	Internal Medicine		in press	
高田伸弘	予期せぬ感染症との遭遇. 2. 医ダニ類の多様性, とくに各種感染症を媒介するマダニたち	Clean Life 2014		5-11	2014
高田伸弘	わが国でも問題のベクター媒介性感染症. 8. 日本紅斑熱の発生状況と媒介マダニから見えてくる感染環	化学療法の領域	30	305-312	2014
高田伸弘	つつが虫病. 小児疾患診療のための病態生理1	小児内科	46	1059-1061	2014
大蔵美幸, 山内高弘, 根来英樹, 細野菜穂子, 岸慎治, 稲井邦博, 和野雅治, 松本加奈, <u>岩崎博道</u> , 森田邦彦, 上田孝典	同種骨髄移植後再発しドナーリンパ球輸注療法により再寛解を得て13年後に sudden blast crisisで再発した慢性骨髄性白血病	癌と化学療法	41	265-268	2014
<u>岩崎博道</u>	診断の見逃しの多いつつが虫病	Medical Tribune	47	10	2014
藤田博己	国内のマダニ相とマダニ感染症の現状	殺虫剤研究班のしおり	85	3-8	2014
竹之下秀雄, 門馬直太, <u>藤田博己</u>	両手掌に紅斑を呈したKawasaki型 <i>Orientia tsutsugamushi</i> 感染によるツツガムシ病の1例	皮膚臨床	56	471-475	2014
竹之下秀雄, 門馬直太, <u>藤田博己</u>	2012年に当科で経験したツツガムシ病	加齢皮膚医学セミナー 2014年	9	25-31	2014
<u>安藤秀二</u>	リケッチア症	臨床と微生物	142	51-56	2015

